

キラリ レポート

市民編集委員の
視点から

～ 5 人 で 清 瀬 を レ ポ ー ト し ま す ～ 市 民 編 集 委 員 を 紹 介

昨年11月からスタートした「キラリレポート」では、これまで3人の市民編集委員が市内の事業やイベントをそれぞれ取材してきました。平成31年度からは新たに2人の市民編集委員を迎え、さまざまな視点から市の政策や事業をレポートします。今回は、5人の市民編集委員から平成30年度の取材の感想と平成31年度への意気込みなどを伺いました。

こ れ ま で の 取 材 を 振 り 返 っ て

片寄明香さん

今年度は、「清瀬」に関する本を題材とした読書交流会、自分の口で噛んで食べる大切さについての講演会、コミュニケーションのスキルアップを目指すワークショップに参加しました。どれも興味深く、身になる内容でした。参加されていない皆さんにも、わかりやすく、思いが伝わる記事を目指してこれからも努力していきます。



高橋玲子さん

清瀬市のさまざまな場所を訪れたり、催しに参加したり、いろいろな方からお話を伺ったりして、「清瀬っていいな」と思うことがたくさんありました。

これからも清瀬市の魅力を再発見することを楽しみに、取材で自分が感じたことを率直に伝え、市民の皆さんと「いいな」を共有できたら嬉しいです。



山本美香さん

市民編集委員となって11年。昨年は、その集大成とも言えるイベントを取材しました。平成30年度憲法週間行事「講演と映画の集いin清瀬」です。清瀬市の課題の1つでもある高齢者の人権について改めて深く考えるきっかけとなりました。

今後も清瀬市の良い特色を伝えていくとともに協働の一端を担うお手伝いができればと思います。



新 た な 市 民 編 集 委 員 か ら 活 動 へ の 意 気 込 み

川村はるみさん

今年は5月より新年号、そして来年にはオリンピック開催と…。清瀬市でも何か、新しい風が吹き抜ける予感がします。そんな折に、市民編集委員として活動の機会を頂きとてもワクワクしています。「私たちの街、清瀬市」について学び、市民の視点から情報を分かりやすくお伝えし、魅力溢れる紙面になるよう努力します。また、市報を通して市民の皆さんの声もお届けできたら…と思います。

竹下江里子さん

「清瀬」という響きに惹かれ、この地に移り住んで、早10年。そんな単純な理由でしたが、それも何かの縁だと感じます。子育てに追われ、ゆっくりと自分のいる環境を知る機会もないまま、時間だけが過ぎていました。今回、市民編集委員として清瀬の魅力を伝えながらも、私自身も改めて学んでいきたいと思っています。

消 費 生 活 相 談 の 現 場 か ら

無料の保険勧誘

無料なのに、
保険会社は儲かる？

所有しているクレジットカードの会社から、保険加入を勧めるDMが届いたことはありませんか？

交通事故傷害の入院などに関する保険で、保険料金は無料と強調されています。無料期間は数年で切れてしまいますが、無料に惹かれて申込み方も少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。

<相談事例>

クレジットカードの会社数社から「貴方に特別なお知らせ」という手紙が来た。数社とも保険金負担なしで交通事故の入院保険に申込み、期間は2年、保険料は加入保険会社が負担するとの案内だった。

無料なら1件ぐらい申込みでいいかなと思ったが、保険会社はそれで儲かるのか？ 何か他に狙いがあるのだろうか。

<アドバイス>

この交通事故による入院補償の保険は、ほとんどの場合日数が5日以上入院が対象となる、非常に限定された保険です。

こういった保険の案内には無料プランと比較する形で月額500円



～1,000円弱程度の有料プランが提示されています。もちろん補償は入院1日から、など無料プランより厚くなります。それを見て月1,000円弱なら、と申込み消費者を期待しているのではないのでしょうか。たとえ少額でもその手にはのらない、とあくまで無料の保険のみ申込みという方もいるでしょう。

その場合でも保険会社には保険に興味がある人の誕生日、勤務先などの個人情報を手に入れられる、というメリットがあります。

また、クレジットカード会社も加入した場合の保険料の支払いに自社のカードを使用してもらえば手数料収入になります。やはり無料にはわけがあるのです。

問 消費生活センター ☎042-495-6212 (相談専用)

市 史 で 候 mini

清瀬の象徴

「市史で候」四十三の巻
「清瀬の象徴」より

清瀬の象徴の代表格「市章」のデザインができたのは、昭和36(1961)年。まだ清瀬町だったので、名前は「町章」でした。

「清瀬町を象徴するもの」という条件でデザインを募集し、204点が集まりました。応募資格を限定しなかったのが、清瀬外からの応募も多く、見事入賞したのは、岐阜県の方のデザインでした。

「キヨセ」の「キ」を図案化し、円形は団結と平和を、中央の線は発展飛躍を表しています。

一方、「市の花」「市の木」「市の鳥」は、都市化の波のなか、失わ

れゆく緑を残そうという「みどりの防衛計画」の一環として指定されました。

候補を絞り、昭和47年にアンケートを実施。翌年、その結果を基にして選ばれたのが、「サザンカ」「ケヤキ」「オナガ」です。

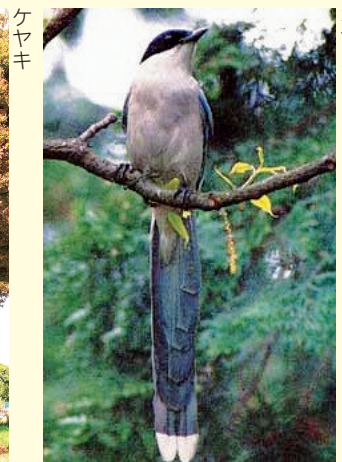
ケヤキは街路樹などに適していることも選出のポイントとなりました。このころ作っていた都市計画道路にはケヤキが植えられ、その道は、のちに「けやき通り」の愛称が付けられて、清瀬のメインストリートとして親しまれています。



市章



サザンカ



オナガ

本編をご覧になるには

市ホームページ…トップページ>市政情報>広報>清瀬市ブログ
プリントアウト版…市内の各図書館でご覧いただけます

3月のびん・かん 収集について

3月の祝日は次の地区で、通常どおりびん・かんの収集を行います。3月21日(木)=元町二丁目、中里一～三丁目、野塩、梅園 3月22日(金)=松山、竹丘 問 ごみ減量推進課 問 ごみ減量推進係 ☎042-493-3750